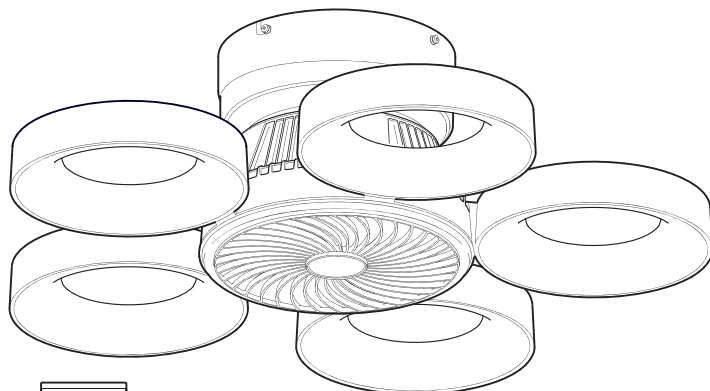


取扱・施工説明書

サーキュレータ付LEDシーリングライト
TLFR8018401

品番 **TLFR80184**
TLFR12184
(共通)



工事店様へ

製品を安全に設置しお使いいただくためにこの取扱・施工説明書をよくご覧のうえ手順に従って取り付けてください。

※正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

取扱・施工説明書に基づいて製品の取り扱いを説明してください。そのあと、取扱・施工説明書を一緒にお客様にお渡しください。

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に取扱・施工説明書をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。

「安全上のご注意」は必ずお読みください。保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱・施工説明書とともに大切に保管してください。

もくじ



ページ




安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	4
施工前の確認事項	5
器具本体を取り付ける	6
リモコンの使い方	8
あかりをつける・消す	10
ご使用上に関するお知らせ	11
お手入れについて	11
故障かな?と思ったら	13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について...	14
仕様	15

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

警告

■ 取付面

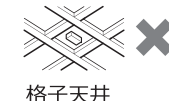
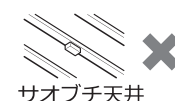
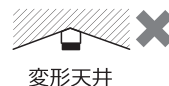
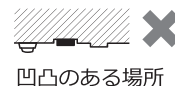
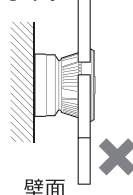
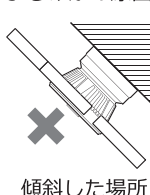
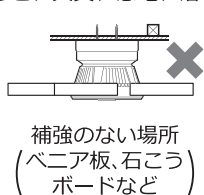
● 次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、天井面取付専用器具です。

指定場所以外に取り付けると、火災、感電、落下によるけがの原因となります。



禁止



■ 器具の取り付けは器具質量の約10倍の荷重に耐える場所に、本取扱説明書に従って確実に行ってください。

器具質量：TLFR80184, TLFR12184 → 約4.3kg ◎天井補強の確認は、工務店にご相談ください。

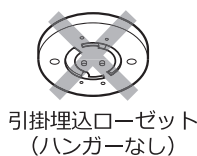
■ 配線器具

● 次のような配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止



◎配線器具の取付工事が必要な場合は、必ず販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です)

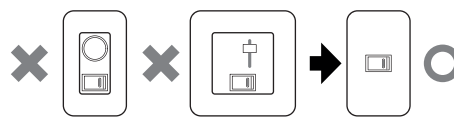
■ 壁スイッチ

● 調光機能が付いた壁スイッチの場合は
一般の入切用スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。



必ず守る ◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です)



■ その他

● 交流100ボルトで使用してください。
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

● 取り付けの際やお手入れの際は必ず電源を
切ってください。

不意に作動してけがをしたり感電の原因になります。

● 取り付けは本体表示、本取扱説明書に従い
確実に行ってください。

不備な施工は、火災・感電・落下によるけがの原因になります。

● 十分強度のあるところに確実に取り付けてください。

取り付けに不備があると、落下によるけがの原因になります。

◎天井の補強確認は工務店にご相談ください。

● 異常な振動が発生した場合や異常を感じた場合
速やかに電源を使うのをやめてください。

取り付けがゆるみ、落下してけがの原因になります。

異常状態が収まったことを確認してください。

お買い上げの販売店・工事店またはお客様相談室にご相談ください。



禁止

● ファンの回転中は絶対に手で触れたり棒等
を差込んだりしないでください。また、器具本体
にぶらさがらないでください。

器具が落下、転倒や破損してけがのおそれがあります。



分解禁止

● 器具を改造したり、部品交換をしないでください。
火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



水ぬれ禁止

● この器具は非防水です。
浴室や屋外などの湿気、水気の多い
場所(蒸気の発生する場所など)での
使用はできません。

火災・感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

⚠ 注意

- **当該器具には寿命があります。**
設置して6年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使用続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください) <https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/>

- **電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。**
誤った配線工事は、漏電、感電や火災の原因になります。

- **この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。**
火災・感電の原因となることがあります。

- **付属の梱包材は取り除いて使用してください。**
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- **取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。**
転倒・落下によるけがのおそれがあります。

- **取り付け・取りはずし時、お手入れの際は電源を切ってください。**
通電状態でおこなうと不意に作動してけがをしたり感電の原因になります。

- **カバーなどが破損した場合、そのまま使用を続けしないでください。また、けがの原因になることがありますので破損部分に直接手や肌などを触れないでください。**

- ◎ 破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

- **落下防止ワイヤーは必ず取り付けてください。**
落下によるけがのおそれがあります。

- **万一、羽根やスピナーが壊れた時は、羽根とスピナーの両方を取り替えてください。**

- ◎ 羽根とスピナーを交換する場合は、安全のため電源を切り通電していないことをご確認のうえ行ってください。

- **お手入れ等でファンの羽根を取り付ける際は、羽根、羽根取付用スピナー、前ガードをしっかりと取り付けてください。**
取り付けが不十分であったり正しく取り付けられていないと破損、故障、異音の原因になります。また、落下してけがの原因になります。

- **ご使用を終了した製品は、放置せず撤去してください。**
万一の場合、落下によるけがの原因になります。

- **電池を入れるときは極性表示(プラス+とマイナス-の向き)を間違えないでください。**

- **指定以外のものや新旧の電池を混ぜて使わないでください。**

- ◎ 機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと発火や電池の液漏れの原因となることがあります。

- **風を体に長時間続けてあてないでください。**
健康を害することがあります。

- **ファンの回転中、ファンの中に指や棒などを入れないでください。**
けがの原因になります。

- **髪をファンに近づけないでください。**
髪が巻込まれ、けがの原因になります。

- **製品にハンガー等のものを掛けしないでください。**
火災・故障の原因になります。

- **ものをぶつかけたり、衝撃をあたえないでください。**
落下によるけがの原因になります。

- **LEDを直視しないでください。**
目の痛みの原因となることがあります。

- **振動や衝撃の大きい場所に取り付けしないでください。**
落下によるけがの原因になります。

- **直接、風の当たる場所には取り付けしないでください。**
落下によるけがの原因になります。

- **直射日光の当たる場所には取り付けしないでください。**
樹脂部分の変色や変形、変質の原因になります。

- **温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。**
火災の原因となることがあります。
◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- **油、ホコリの多いところでは使わないでください。**
引火やショートして、火災・感電の原因になります。

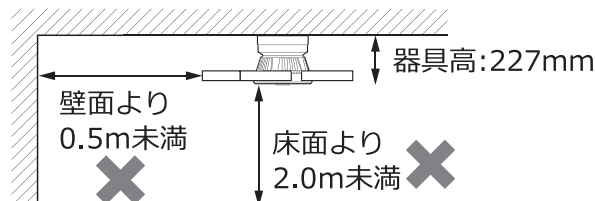
- **ガスレンジなど炎の近く、引火性のガスのある場所、雨や水しぶきがかかる場所には取り付けしないでください。**
器具の変色や変形、炎の立ち消え、引火、爆発やショートして火災・感電の原因になります。

- **お手入れの際は住宅用洗剤、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などを使わないでください。**
器具の変色や変形、感電や故障の原因になります。

- **薬品のある場所、酸、アルカリをつかう場所には取り付けしないでください。**
変形・変質により落下してけがの原因になります。

- **殺虫剤やスプレー式洗剤をかけしないでください。**
器具の変色や変形、引火して火災の原因になります。

- **床面より2.0m未満の場所、壁面から0.5m未満の場所には取り付けしないでください。**
床面と近接した場合、接触してけがの原因になります。
壁面と近接した場合、サーキュレーション効果が出なかったり、器具の振動、羽根のブレ、モーター共鳴の原因になります。



- **点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。**
やけどの原因となることがあります。
◎ お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



必ず守る



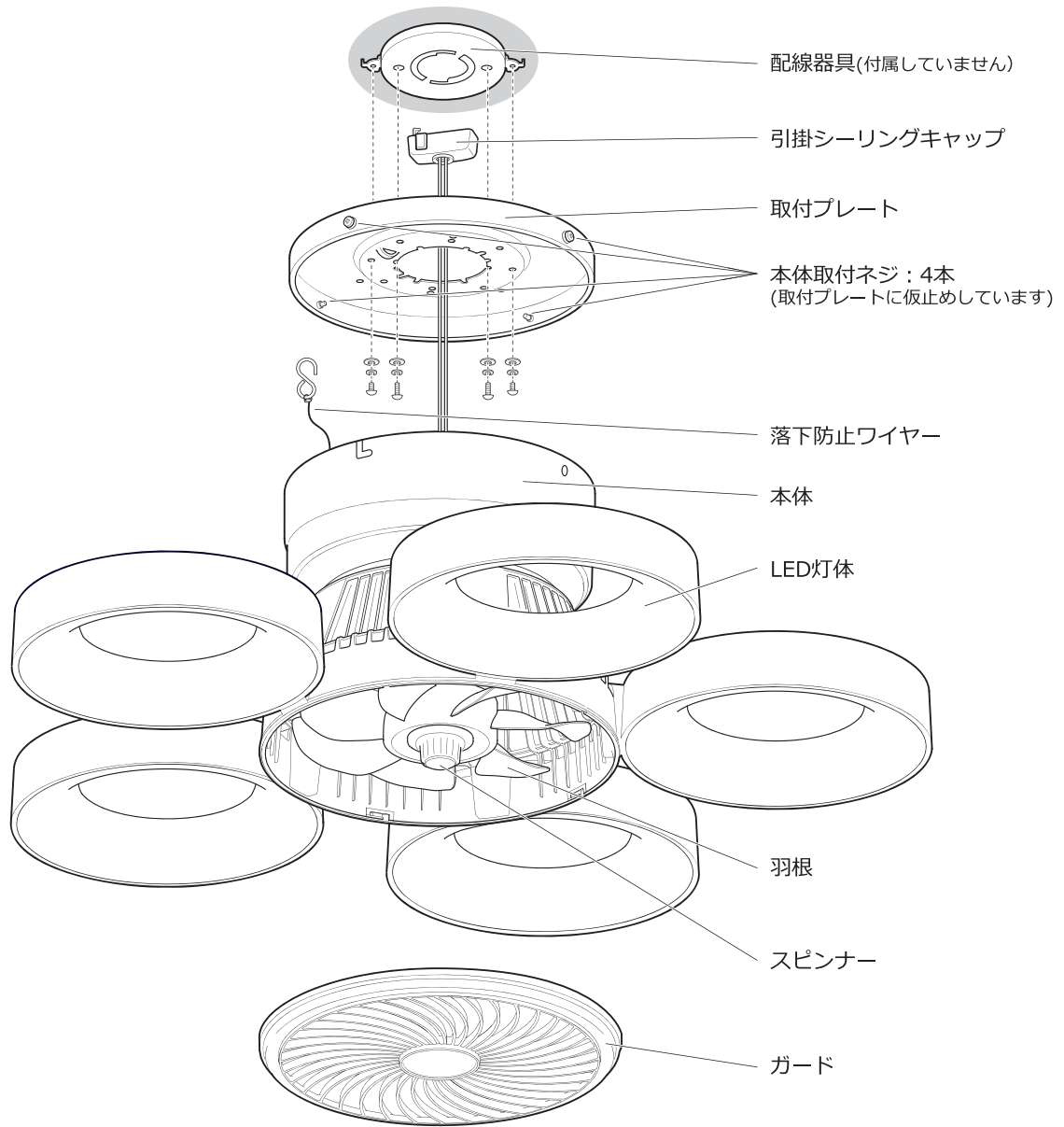
禁止



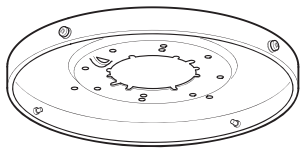
接触禁止

各部のなまえと付属部品

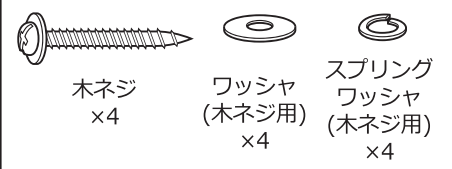
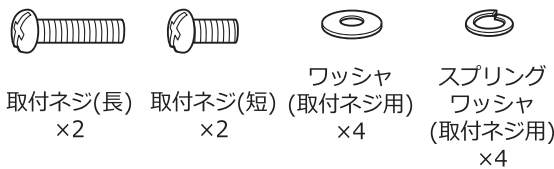
取付ける前にまず付属部品をご確認ください



付属部品

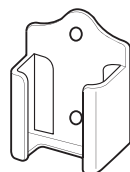


取付プレート
x1



リモコン付属部品

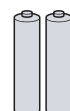
リモコン
x1
<補修番：TLR-020>



リモコンケース
x1



木ネジ
x2



単4形乾電池
x2

●リモコンに付属の電池は動作確認用の為、電池寿命が短い場合があります。

施工前の確認事項

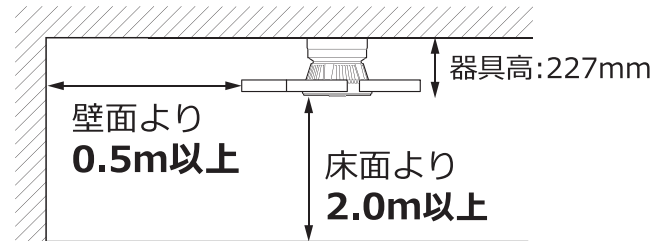
- 壁スイッチを設けてください。
取り付け・取りはずし時または、使用しない時やお手入れの際に電源を切ることができます。

1 取り付ける場所を決める

安全上のご注意(2~3ページ)と、下記の **A B C** の内容を考慮して、器具の取付場所を決めてください。

A 器具本体の取り付けは、必ず右図の距離が確保できている場所に取り付ける

器具本体とまわりの壁面とが近接してせまい場合や、天井が平らでない場所、近くに柱がある場所などに取り付けた場合、空気の流れが乱れてサーキュレーション性能が低下したり、器具本体の振動、羽根のブレ、モーター共鳴の原因になります。また、傾斜天井に取り付けて使用することはできません。

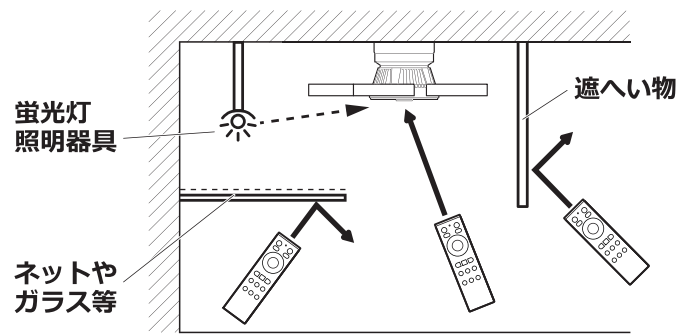


- 床面より2.0m以上、壁面から0.5m以上の距離を確保できる場所に取り付けてください。

B リモコンを受光できる場所に取り付ける

受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受光します。右図のように信号が遮断されたり、または蛍光灯照明器具などによって、当該器具が受光できない場合があります。

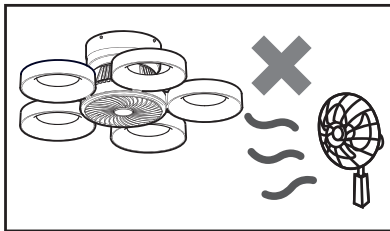
- ◎受光部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の障害になるところ
- ◎ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ
- ◎受光部に蛍光灯照明器具の光が直接当たっているところ



C 次のような場所には取り付けない

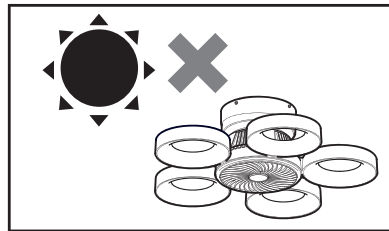
直接、風のアたる場所

落下によるけがの原因になります。



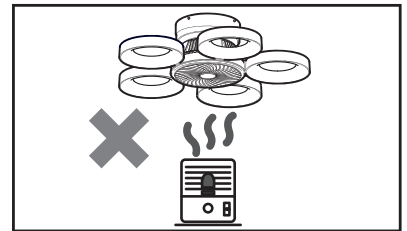
直射日光のアたる場所

樹脂部分の変色や変質の原因になります。



蒸気や温風のアたる場所

変色や故障の原因になります。



2 取り付ける場所の強度を確保し、弱い場合は補強する

- 取り付け面の強度をよく確認し、あらかじめ補強するか補強材の入っているところに取り付けてください。

天井補強の確認は、工務店にご相談ください。

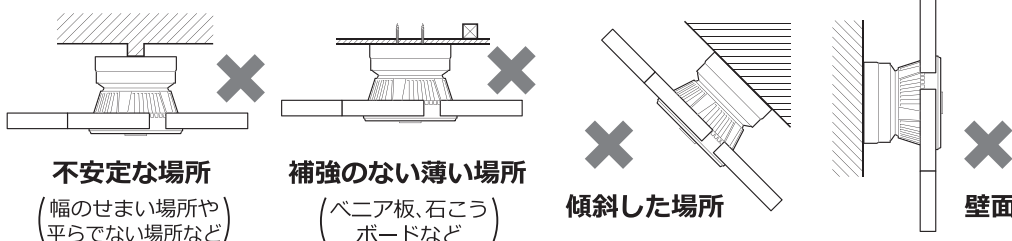
- 器具の取り付けは器具質量の約10倍の荷重に耐えられる強度を確保してください。

器具質量：TLFR80184, TLFR12184 → 約4.3kg

- 下図のような場所には取り付けないでください。

この器具は、天井面取付専用器具です。

指定場所以外に取り付けると火災、感電、落下によるけがの原因になります。



警告

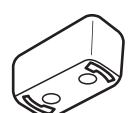
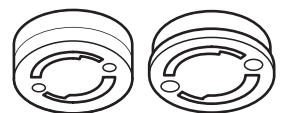


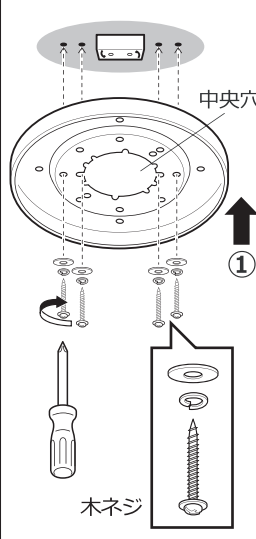
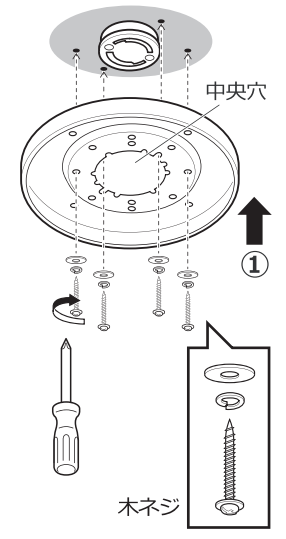
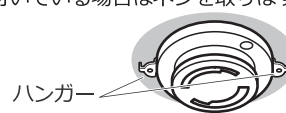
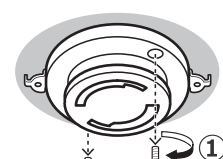
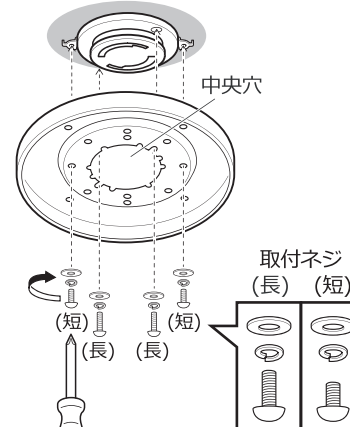
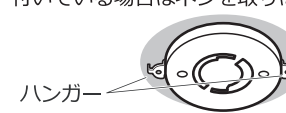
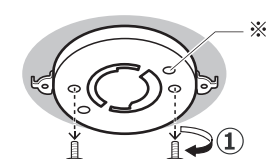
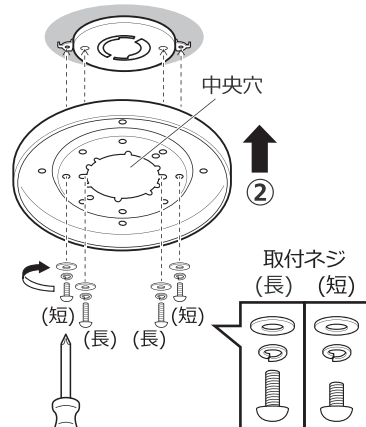
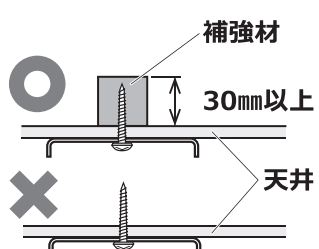
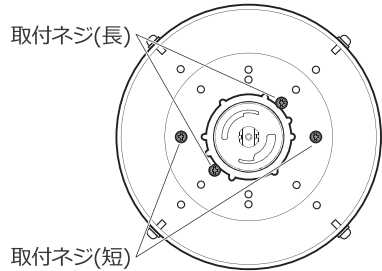
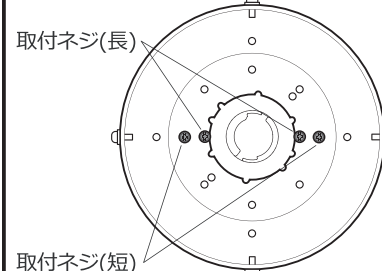
● 十分強度のあるところに確実に取り付け
落下してけがのおそれがあります。
必ず補強材のある箇所い確実に取り付けてください。

補強材
30mm以上
天井

1 天井についている配線器具を確認して、取付プレートを取り付ける

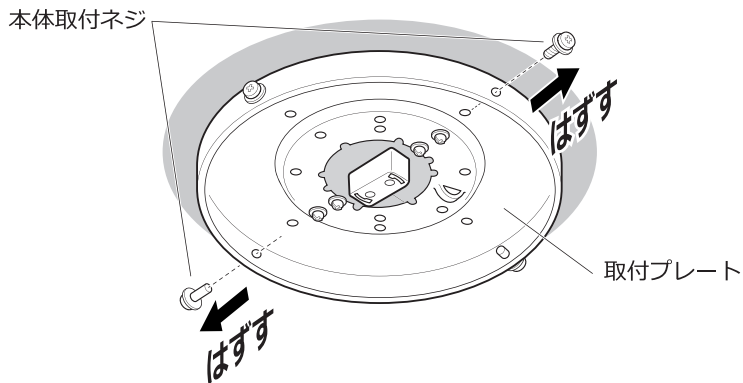
天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

! 下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。 ◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です)

角形引掛シーリングの場合	丸形引掛シーリングの場合	フル引掛ローゼットの場合	引掛埋込ローゼット(ハンガー付)の場合
 <p>角形引掛シーリング</p>	 <p>丸形引掛シーリング 丸形フル引掛シーリング</p>	 <p>フル引掛ローゼット</p>	 <p>引掛埋込ローゼット(ハンガー付)</p>
 <p>中央穴</p> <p>①</p> <p>木ネジ</p>	 <p>中央穴</p> <p>①</p> <p>木ネジ</p>	<p>※ローゼットのハンガーにネジが付いている場合はネジを取りはずす</p>  <p>ハンガー</p>  <p>① ローゼットの2本のネジを取りはずす</p>  <p>中央穴</p> <p>取付ネジ (長) (短)</p>	<p>※ローゼットのハンガーにネジが付いている場合はネジを取りはずす</p>  <p>ハンガー</p>  <p>① ローゼットの2本のネジを取りはずす (※対角にネジが留まっている場合、そのネジを使用して次の図のように一直線になるように固定してください)</p>  <p>中央穴</p> <p>②</p> <p>取付ネジ (長) (短)</p>
<p>①取付プレートの中央穴に引掛シーリングを合わせて付属の木ネジ4本でしっかり固定する ※ドライバー工具を使って確実に固定する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>警告</p> <p>図のネジの位置は一例です。天井面の強度を十分に確認し木ネジは必ず補強材のある箇所に確実にとめてください。</p>  <p>補強材</p> <p>30mm以上</p> <p>天井</p> </div>		<p>②付属の取付ネジ(長)と取付ネジ(短)を使用して取付プレートを取り付ける ※ドライバー工具を使って確実に固定</p> <p>【取り付け後 下から見た図】</p>  <p>取付ネジ(長)</p> <p>取付ネジ(短)</p> <p>配線器具の種類によってはネジの位置が異なる場合があります その場合は、取付プレートと配線器具の穴の位置関係を確認して取り付ける</p>	<p>②付属の取付ネジ(長)と取付ネジ(短)を使用して取付プレートを取り付ける ※ドライバー工具を使って確実に固定</p> <p>【取り付け後 下から見た図】</p>  <p>取付ネジ(長)</p> <p>取付ネジ(短)</p> <p>配線器具の種類によってはネジの位置が異なる場合があります その場合は、取付プレートと配線器具の穴の位置関係を確認して取り付ける</p>

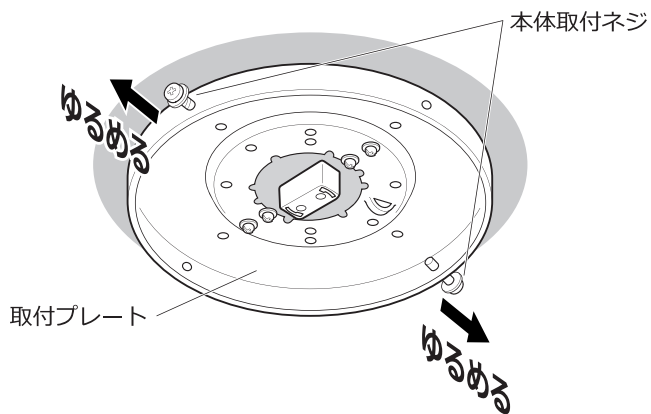
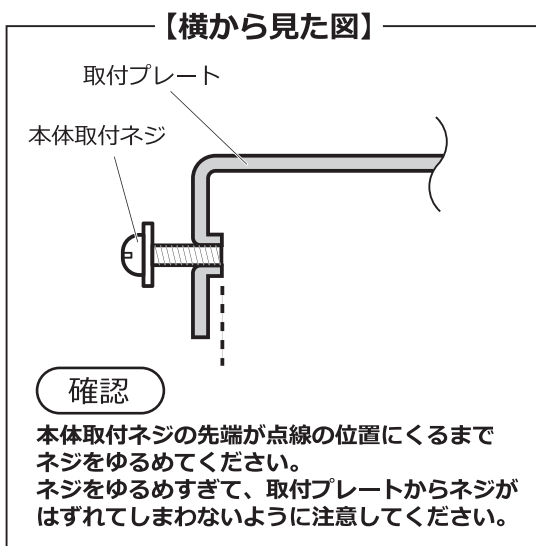
2 取付プレートからネジを取りはずす

取付プレート外周についている本体取付ネジが4カ所あることを確認し、4カ所のうち、向かい合う2カ所の本体取付ネジを取付プレートから取りはずす



3 取付プレートのネジをゆるめる

取付プレートに残っている2カ所の本体取付ネジをゆるめる



4 落下防止ワイヤーを取り付ける

取付プレートのワイヤー取付穴に落下防止ワイヤーを引掛け、本体を仮吊りする

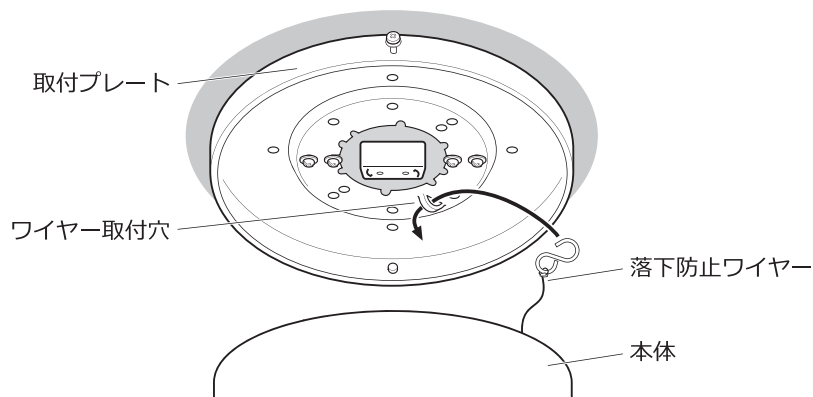
警告

落下防止ワイヤーは必ず取り付けてください。

落下による、けがのおそれがあります。

器具を取りはずす際は、本体をしっかり支えて落下防止ワイヤーを取りはずしてください。

落下による、けがのおそれがあります。

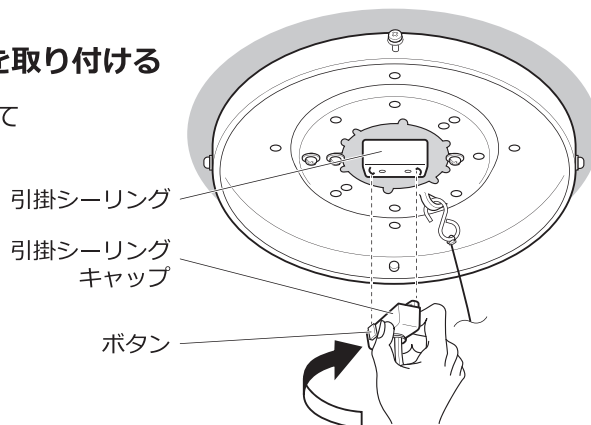


5 引掛シーリングに引掛シーリングキャップを取り付ける

引掛シーリングキャップを右に回して確実に取り付ける

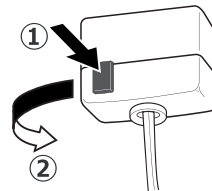
確認

取り付け後、ボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認する



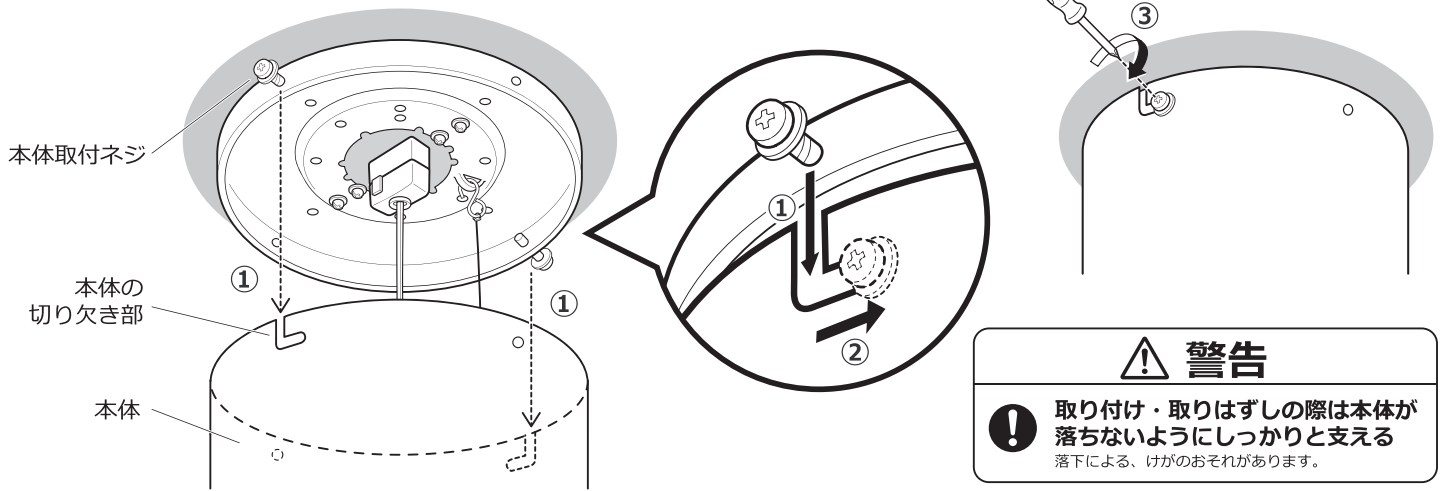
取りはずしかた

- ①ロック解除ボタンを押して
- ②引掛シーリングキャップを左に回す



6 取付プレートのネジに本体を仮固定する

- ① 本体をしっかりと支えながら **3** でゆるめた本体取付ネジ2カ所に 本体の切り欠き部を合わせてはめ込み、
- ② 本体をまわして切り欠きの奥までネジをはめ込む
- ③ 本体をしっかりと支えながら **3** でゆるめた本体取付ネジ2カ所を締め付ける

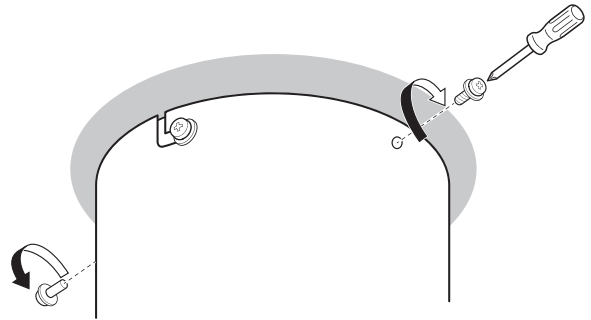


7 取付プレートに本体を固定する

- ② で取りはずした2カ所の本体取付ネジを締め付けて、取付プレートに本体を固定する

確認

4カ所の本体取付ネジを取り付け後、本体にガタつきがないこと、本体が外れないことを確認する



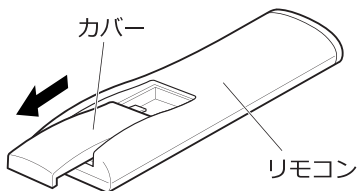
リモコンの使い方

リモコンで器具本体を操作する

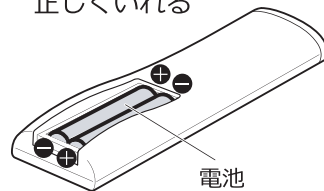
壁スイッチは「入」の状態にしてください

乾電池の入れかた

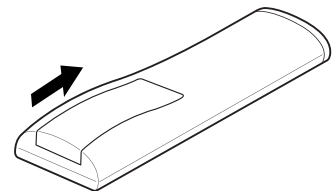
- ① 裏側のカバーをはずす



- ② 電池の⊕⊖の向きを確認し正しく入れる



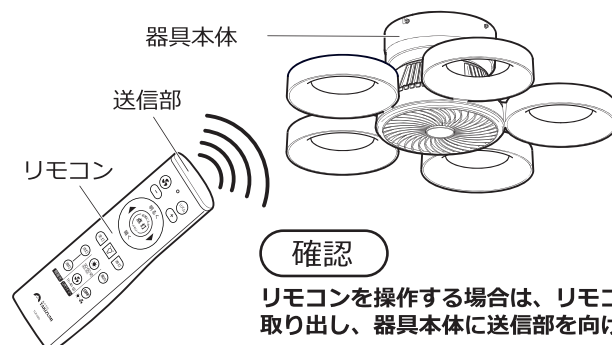
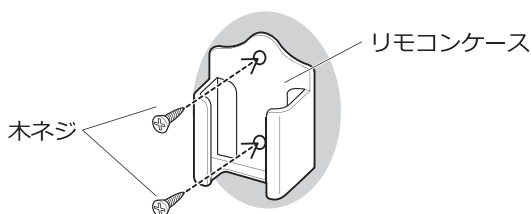
- ③ カバーを取り付ける



使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。※付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は2本とも新しい同じ種類の電池を使用してください。長期間使わないときは液漏れによる故障防止のため、電池を取り出してください。

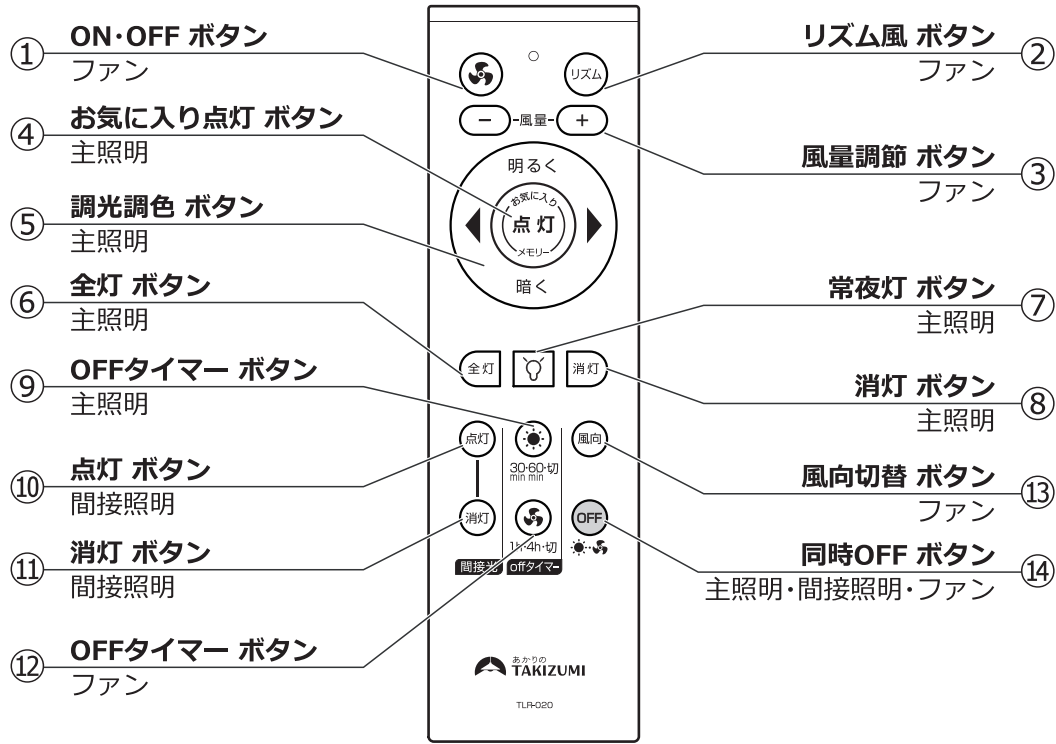
リモコンケースの使いかた

壁などに取り付ける場合は、付属の木ねじを使ってリモコンケースを固定する



リモコンのボタンについて

※リモコン・付属部品などの保証は1年間です。(乾電池を除く)



①	ファン	ON・OFF ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・押すたびにファンの入切を繰り返します。 ・OFFした時の風量を記憶するため、再びONした時は、OFFする前の風量状態で作動します。 注) リズム風は記憶しません。
②	ファン	リズム風 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・風量に強弱をつけて自然な風を再現します。注) リズム風は下向き回転のみです。 ・押すたびに《弱めの風量》→《中間の風量》→《強めの風量》を繰り返します。 <p style="text-align: center;">設定音 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズム風モードを切る場合は『ON・OFFボタン』 を押してファンを停止してください。
③	ファン	風量調節 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・風量を10段階で調整します。 ・風量を強くしたい時は『プラス』 を、風量を弱くしたい時は『マイナス』 を押します。
④	主照明	お気に入り点灯 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリー設定操作をした主照明と間接照明の明るさと色あいで点灯します。 ボタンを長押し(4秒以上)で点灯状態を記憶します。 ⇒初期設定：明るさ100%、色あい5600K ※ ⇒メモリー設定方法は、10ページの『お気に入り点灯機能を使ってあかりをつける』を参照。
⑤	主照明	調光調色 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・主照明の明るさを調節します。(100%～約10%) 明るくしたい時は『明るく』を、暗くしたい時は『暗く』を押します。 ・主照明の色あいを調節します。(昼光色6300K～電球色2700K【※1】まで) さわやかな光にしたい時は『青色の三角』 を、くつろぎの光にしたい時は『橙色の三角』 を押します。
⑥	主照明	全灯 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・主照明を全灯状態(明るさ：100%、色あい：5600K※)で点灯します。
⑦	主照明	常夜灯 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・常夜灯を点灯します。 押すたびに《最大の明るさ》→《中間の明るさ》→《最小の明るさ》を繰り返します。
⑧	主照明	消灯 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・主照明を消灯します。 注) 間接照明は消灯しません。間接光を消灯したい時は、間接照明の『消灯ボタン』 を押します。
⑨	主照明	OFFタイマー ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・照明offタイマーをセットすると30分後または60分後に自動消灯します。 押すたびに《30分後消灯》→《60分後消灯》→《offタイマー設定解除》を繰り返します。 <p style="text-align: center;">設定音 </p>
⑩	間接照明	点灯 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・間接照明の点灯および明るさを調節します。 押すたびに、《最大の明るさ》・・・《最小の明るさ》までの5段階の調節を繰り返します。
⑪	間接照明	消灯 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・間接照明を消灯します。 注) 主照明は消灯しません。主照明を消灯したい時は、主照明の『消灯ボタン』 を押します。
⑫	ファン	OFFタイマー ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンoffタイマーをセットすると1時間後または4時間後に回転停止します。 押すたびに《1時間後回転停止》→《4時間後回転停止》→《offタイマー設定解除》を繰り返します。 <p style="text-align: center;">設定音 </p>
⑬	ファン	風向切替 ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンの回転方向を切り替えます。押すたびに《下向き回転》→《上向き回転》を繰り返します。 初期設定：下向き回転(冷房時) 注) 切り替え操作は、ファン回転時におこなってください。 <p style="text-align: center;"> 下向き回転(冷房時) 上向き回転(暖房時)</p>
⑭	主照明・ファン ・間接照明	同時OFF ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・主照明、間接照明、ファンの全てをOFFします。

あかりをつける・消す

お気に入り点灯機能を使ってあかりをつける

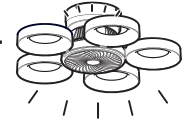
お気に入り点灯とは？

LED点灯中に調光・調色操作をおこない、『お気に入り点灯ボタン』を長押しすることで、その明るさと色あいを記憶することができます。記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

- ①リモコンの主照明「全灯ボタン」や間接照明「点灯ボタン」を押してLEDを点灯させる



点灯



- ②リモコンの主照明「調光調色ボタン」や間接照明「点灯ボタン」を押して、明るさや色あいを調節する

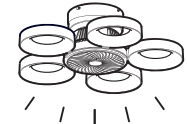
※間接照明は明るさの調節のみ可能です。



明るさ調節

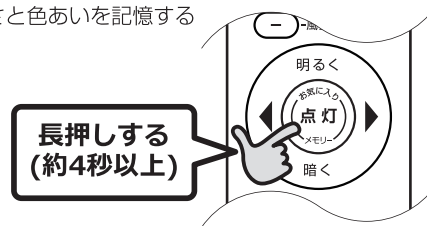


色あい調節

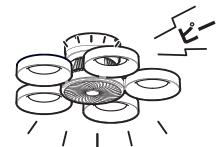


- ③リモコンの「お気に入り点灯ボタン」を長押しして明るさと色あいを記憶する

※再び左記の操作をおこなうまでは記憶した明るさと色あいを保持します。



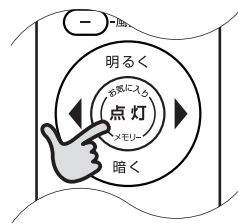
記憶



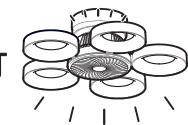
「ピー」と設定音が鳴り
明るさと色あいを記憶

- ④リモコンの「お気に入り点灯ボタン」を押して記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

※初期設定は(明るさ：100%、色あい5600K)の状態では記憶されています。【※1】



メモリー点灯



記憶した明るさと色あいで点灯

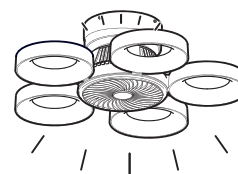
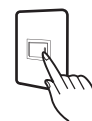
※1：K(ケルビン)とは、色温度の単位で光りの色を数値化したものです。

壁スイッチを使って照明器具を操作する

点灯・消灯する

- 壁スイッチを「入」したときは、記憶している前回の状態で点灯します。

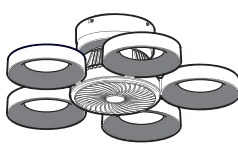
「入」



記憶している
前回の状態で点灯

- 壁スイッチを「切」したときは、現在の状態を記憶して消灯します。

「切」



現在の状態を
記憶して消灯

注) リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため次にONしたときは、最後にお気に入り点灯ボタンに記憶した「明るさと色あい」で点灯します。

注) 消灯状態で「切」にすると、次に「入」したときも消灯状態になります。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラつきがあるため、同一番番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴中、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- 点灯・消灯表示(発光しているもの)機能の付いたスイッチで使用了場合、誤動作することがあります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 外観などの仕様は、予告なく変更することがあります。
- 照明器具が点灯しない場合やファンが動作しない場合は、電源を切り、ご購入店・弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲への影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

お手入れについて

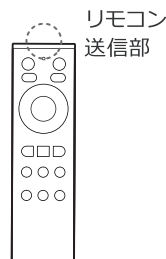
安全のため電源を切り、通電していないことをご確認ください

明るく安全にご使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に下記手順で清掃してください

- 本体をお手入れするときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、水に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた柔らかい布で仕上げてください。ベンジン、シンナー、アルコール、台所用洗剤などの溶剤は外装ケースの変質や変色のおそれがありますので使用しないでください。化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤をかけたりしないでください。変色や破損の原因となります。
- リモコンは使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
 - ※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
 - ※長期間使わない時は、リモコン送信機から電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)
- リモコンの送信部は定期的にお手入れをおこなってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

確認

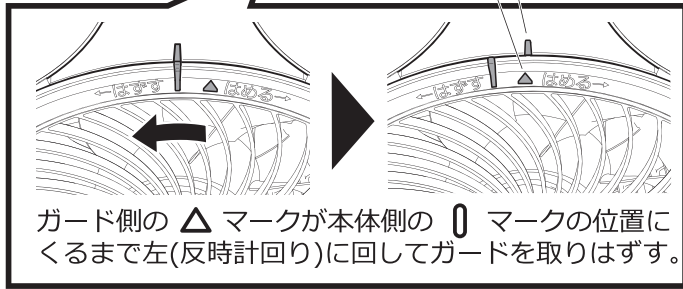
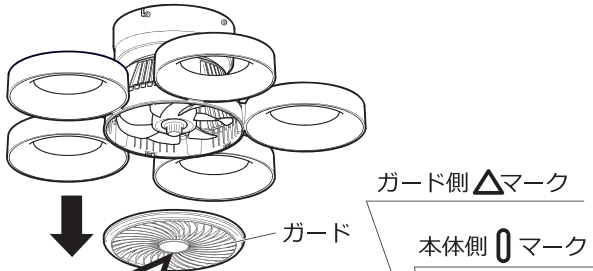
シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。



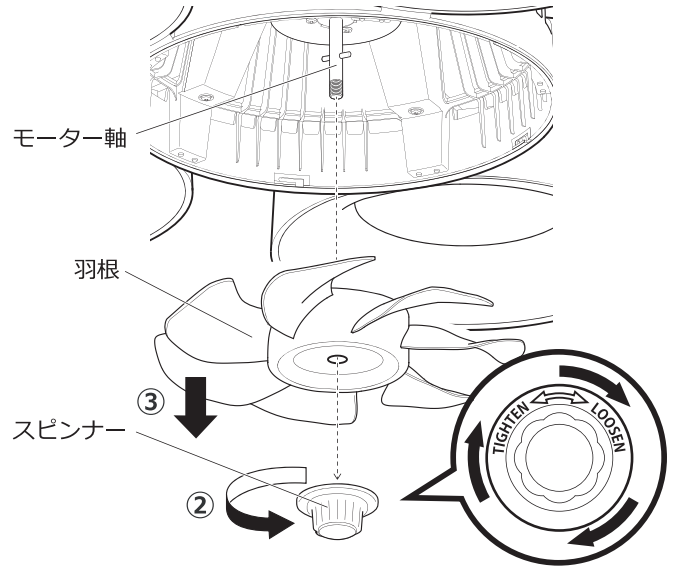
ファンのお手入れの際は、下記の手順で取り付け・取りはずしをおこなってください

ファンを取りはずす

- ① 両手でガード全体を左(反時計回り)に回して取りはずす

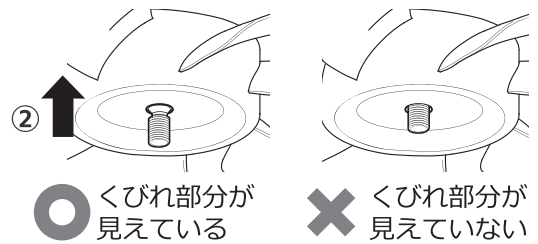
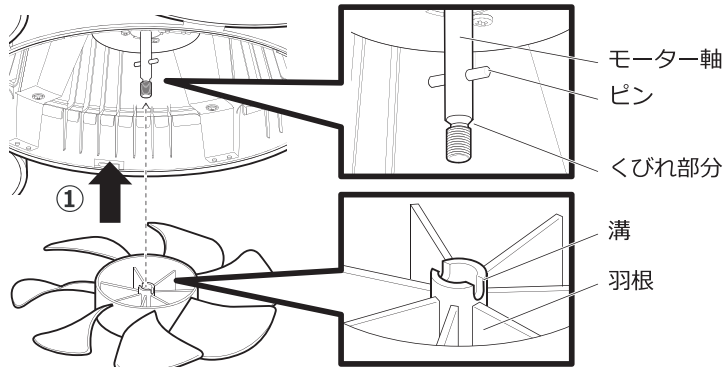


- ② スピナーを右(時計回り)に回してモーター軸から取りはずし、
③ 羽根をモーター軸から取りはずす



ファンを取り付ける

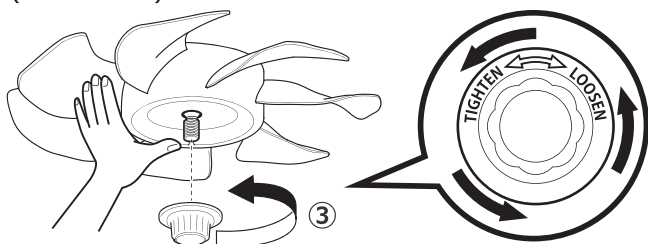
- ① 羽根の溝をモーター軸のピンに合わせて
② モーター軸のくびれ部分が完全に見えるまで差込む



警告

- 羽根は確実に取り付ける
羽根の取り付けが不完全な場合、羽根がはずれて器具の破損やけがの原因になります。

- ③ 羽根の溝がモーター軸のピンからはずれないように、羽根を手で押さながら軸にスピナーを左(反時計回り)に回して確実にしめる

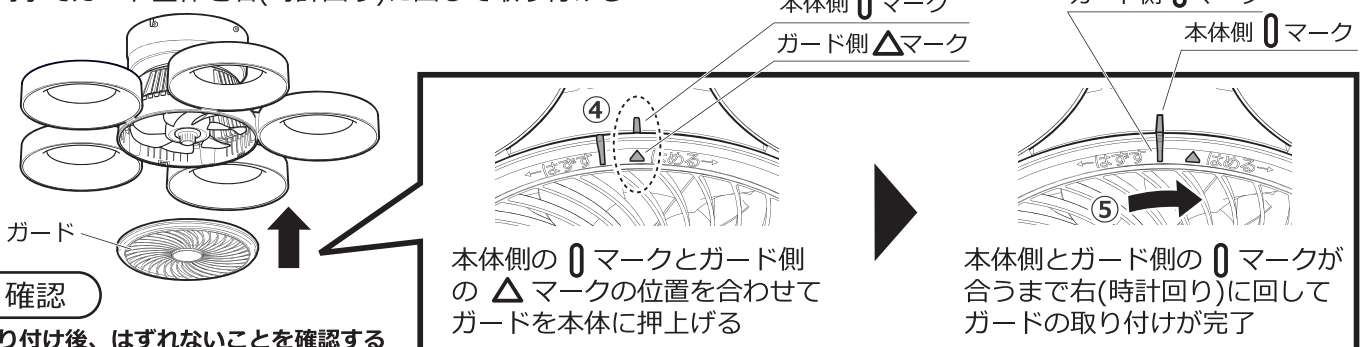


警告

スピナーが回らなくなるまで確実にしめる
取り付けが不完全な場合、羽根がはずれて器具の破損やけがの原因になります。

- 羽根、スピナーに破損や変形がある場合は、使用を中止し、羽根とスピナーの両方を交換する
そのまま使用すると羽根がはずれて器具の破損やけがの原因になります。
補修部品(羽根とスピナーのセット)のご依頼はご購入店舗または、弊社お客様相談室にご相談ください。

- ④ 本体側の 0 マークとガード側の Δ マークの位置を合わせて押し上げ、
⑤ 両手でガード全体を右(時計回り)に回して取り付ける



確認
取り付け後、はずれないことを確認する

現象	考えられる原因	点検事項
【照明】		
・照明が点灯しない	・壁スイッチがOFFになっている	➔ 壁スイッチをONにしてください
	・器具の引掛シーリングキャップが確実に取り付けられていない	➔ 器具の引掛シーリングキャップを確実に接続してください
・照明が勝手に消灯する	・offタイマー30分/60分が設定されている	➔ offタイマー30分/60分を解除してください
【ファン】		
・ファンが回転しない	・壁スイッチがOFFになっている	➔ 壁スイッチをONにしてください
	・器具の引掛シーリングキャップが確実に取り付けられていない	➔ 器具の引掛シーリングキャップを確実に接続してください
	・羽根が正しく取り付けられていない	➔ 羽根を正しく取り付けてください
	・スピナーがゆるんでいるか、はずれている	➔ スピナーを正しく取り付けてください
・ファンが勝手に停止する	・offタイマー1時間/4時間が設定されている	➔ offタイマー1時間/4時間を解除してください
・異音がる	・ガード、羽根が正しく取り付けられていない	➔ ガード、羽根を正しく取り付けてください
	・スピナーがゆるんでいる	➔ スピナーを締めつけ、正しく取り付けてください
	・天井へ正しく取り付けられていない	➔ 器具の取付方法を確認し、正しく取り付けてください
	・羽根が破損、変形している ・スピナーが破損、変形している	➔ 羽根とスピナーの両方を交換してください ※羽根やスピナーに破損、変形がある場合は、ただちに電源を切り使用を中止してください。補修部品(羽根とスピナーのセット)のご依頼はご購入店または、弊社お客様相談室にご相談ください。
・本体の揺れが大きい または大きく振動している ・異常な動きをする	・羽根が破損、変形している ・スピナーが破損、変形している	➔ 羽根とスピナーの両方を交換してください ※羽根やスピナーに破損、変形がある場合は、ただちに電源を切り使用を中止してください。補修部品(羽根とスピナーのセット)のご依頼はご購入店または、弊社お客様相談室にご相談ください。
・壁スイッチでファンが動作しない		➔ 異常ではありません 壁スイッチの入切ではファンは動作しません
・ファンの動作時に振動やブレがでる		➔ 器具の取付け時に天井材質や取付位置など、取付状態や取付環境により、ファンの回転数によっては若干の振動ブレが生じる場合があります。回転スピードをずらしていただくか、回転数を落としてご使用ください。 (木ネジ4点でとめ、しっかりと天井に器具を取り付けることで振動ブレが生じにくくなります。)
【照明・ファン 共通項目】		
・リモコン操作ができない	・電池が正しく入っていない	➔ 電池を正しく入れてください
	・電池が消耗している	➔ 電池を交換してください

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。



注意

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります
 【設計上の標準使用期間】6年

設計上の標準使用期間を超えて使用した場合、経年劣化による発火けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計標準使用期間

- ※標準的な使用条件（【I】表参照）の下で使用した場合に経年劣化により安全上、支障なく使用することができるとして科学的に確認または、判断された期間として設定されたものです。
- ※無償の保証期間とは異なるものです。
- ※標準的な使用条件を超える使用頻度や、使用環境と異なる場合など経年劣化を特に進める事情が在する場合、この期間よりも早期に安全上支障を生ずる恐れが多くなります。

【I】表 標準的な使用条件 <JIS C9921-1 による>

大項目	中項目		小項目
環境条件	電圧		AC 100V
	周波数		50Hz/60Hz
	温度		30℃
	湿度		相対湿度65%
	設置条件		標準設置(取扱・施工説明書による)
負荷条件			定格負荷
想定時間等	天井扇	1日あたりの使用時間	10 (h/日)
		1日の使用回数	5 (回/日)
		1年間の使用日数	180 (日/年)
		スイッチ操作回数	900 (回/年)
		首振運転の割合	対象外

長年ご使用の家庭製品にこんな症状が出ていませんか？

ご使用の家庭製品は、熱、湿気、ホコリなどの影響により内部部品が劣化し、発煙、発火の恐れがあります。ご使用中に次のような症状がみられる場合は、電源スイッチを切り、お買い上げの販売店またはメーカーにご相談ください。

- ①スイッチを入れても、ファンが回らない。
- ②ファンが回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- ③回転するときに異常な音や振動がする。
- ④モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- ⑤器具部分に触れると、ファンが回ったり、回らなかつたりと不安定。



愛情点検

- ◎安全のために1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検をしてください。
- ◎点検せずに長期間使い続けると、火災、感電、落下などに至るおそれがあります。
- ※「安全チェックシート」は弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください。
 (<https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/>)

品番	TLFR80184 / TLFR12184					
使用電圧	AC100V					
周波数	50/60Hz 共用					
消費電力	最大器具消費電力（主光源100%点灯・間接光100%点灯・ファン風量最大）					
	TLFR80184：消費電力62.0W・入力電流0.63A			TLFR12184：消費電力73.0W・入力電流0.74A		
	照明器具部				ファン部	
	TLFR80184		TLFR12184		常夜灯	TLFR80184/TLFR12184共通
	全灯 （主光源 100%点灯）	全灯 + 間接光 （主光源 100%点灯） （間接光 100%点灯）	全灯 （主光源 100%点灯）	全灯 + 間接光 （主光源 100%点灯） （間接光 100%点灯）	常夜灯 100%点灯	風量最大時
45.0W	54.0W	56.0W	65.0W	1.6W	10.0W	
入力電流	0.46A	0.55A	0.57A	0.66A	—	0.12A
待機電力	約1.5W					
器具寸法	幅：φ730mm 高：227mm（TLFR80184/12184 共通）					
器具質量	約4.3kg（TLFR80184/12184 共通）					

- 電圧や室温等の条件により若干の誤差が生じる場合があります。
- リモコンでファンおよび照明器具が「切」・「消灯」のときの消費電力(待機時)は約1.5Wです。
- 冬期など使用環境温度が低い場合は、始動時の羽根の回転が遅くなります。正規の回転数に安定するまでに、数分かかることがあります。
- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- LED光源の寿命は、約40,000時間です。（LED本体とファン本体の寿命は異なります）
LED光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を指定したものです。

タクズミ照明器具保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 保証期間は製品お買い上げ日から**1年間**です。但し、LED電源は**5年間**です。
お買い上げ日より5年以内に故障が発生した場合は保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の間とします。
- LEDランプ搭載器具、消耗品(カバー、リモコン電池など)は、5年保証の対象外となります。**
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外(例えば業務用等や車両、船舶等に搭載)に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
- 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
(※セードなどの電気部品以外の部品は含まない)
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	TLFR80184 TLFR12184	保証期間 (お買い上げ日から)	本体：1年間 (但し、LED電源5年間)	お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前		販売店名・住所・電話番号		
	ご住所 〒 -				
	電話番号 () -				

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

